

輝け アスリート 第1回

井坂恵里那さん(宇治山田商業高校)

従来の「三重陸協たより」は競技会の結果を踏まえて、活躍した競技者を紹介してきました。この内容は今後とも継続していきますが、新企画として、これから活躍が期待できる競技者にスポットを当てて紹介していきたいと考えています。若き競技者を中心にたくさん紹介していくつもりです。

栄えある第一回は、高校女子円盤投の井坂恵里那さん(宇治山田商業高校)です。



井坂さんは伊勢市立倉田山中学校で陸上部に入り、3年のジュニアオリンピックでは女子B円盤投において第2位となり、全国大会入賞を果たしました。

高校は陸上競技の名門宇治山田商業高校に進み、1年の春の三重県高校総体でいきなりやり投で優勝し、女子総合優勝の決定打を放つ活躍を見せ、鮮烈なデビューを飾りました。2年になり、長崎の全国高校総体に円盤投で出場し、秋の静岡国体では40mを越える投擲を見せましたが、ベスト8に一人届かず、9位という成績となりました。本人はこのことがとても悔しかったらしく、「高校最後の冬季練習の意欲の源となった」と話しておりました。

冬季練習をしっかりと積んだ今シーズンは春先から好調で、県高校総体を前にして既に45m39の好記録を樹立して、高いレベルで安定した投擲を見せえています。これからの活躍が大いに期待できます。

今シーズンの抱負を語ってもらいました。

「今年目標記録は、市岡さんが持っている三重県高校記録の更新です。私は力で投げるタイプではないので、流れと振り切りを大切にしていきたいと思っています。以前練習で初めて45mを越えた時にとってもよい感じをつかんだので、今その感じを完全に自分のものにするべく練習しています。今、サークルに入るのがとても楽しく感じられ、今を大切にやっていきたいと思っています。山本浩武先生には私が投げの感じをつかむために遅くまで練習をすることがあるのですが、ずっと付き合ってくれていただき、とても有り難く思っています。」

顧問の山本浩武先生は、「競技に取り組む姿勢がこの冬はとても充実していました。この状態が今も続いているので、練習を積んでいけば必ずそれに見合った結果がついてくるでしょう。」と頼もしい言葉が返ってきました。